長崎県における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、長崎県では計83か所の施設に合計約379,000丸の丸剤と約2,050gの粉末剤、ゼリー剤（乳幼児用、新生児用）6,100包を備蓄。
  そのうち、長崎県内の離島（福島、飛島、青島、平戸島、度島、的山大島、壱岐島、大島、長島、原島）については、それぞれの離島において安定ヨウ素剤を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合は、避難元の備蓄場所（計75か所（各離島を含む））での配布のほか、避難先の救護所（計10か所）において対象住民等に緊急配布を実施。

安定ヨウ素剤備蓄場所

長崎県内：83か所

保健所、診療所、市役所、支所、学校、幼稚園、保育園等に分散配備

救護所へは、県及び市町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

<緊急配布の考え方>

- 避難先までの距離が遠い場合は、避難元の備蓄場所又は避難先の救護所で緊急配布を実施。
- 避難先までの距離が近い場合は、移動を優先し、避難先の近くに設置する救護所で緊急配布を実施。
- 離島については、対象となる離島に備蓄し、緊急配布を実施。

緊急配布場所（85か所）

松浦市：41か所、佐世保市：2か所、平戸市：6か所
壱岐市：33か所、東彼杵町：1か所、川棚町：1か所
波佐見町：1か所

福岡県における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、福岡県では計5か所の施設に合計約87,000丸の丸剤と約375gの粉末剤、乳幼児向けに16.3mgゼリー剤260包と32.5mgゼリー剤1,000包を備蓄。
  そのうち、福岡県内の離島（姫島）においても安定ヨウ素剤を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合は、避難経路上にある県内44か所の公民館等において、対象住民等に緊急配布を実施。

安定ヨウ素剤備蓄場所

福岡県内：計5か所

一貫山公民館
深江公民館
福吉公民館
引津公民館
姫島福祉センター「はまゆう」

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

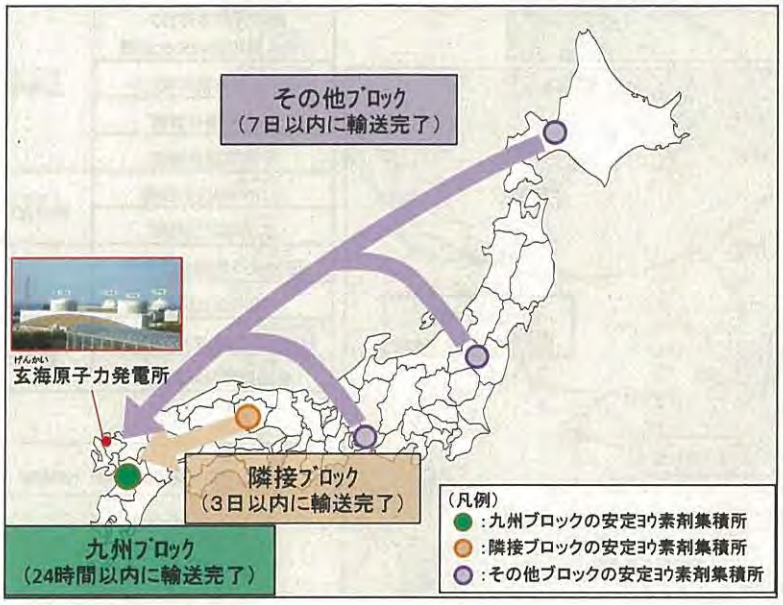
避難経路上にある糸島市内44ヶ所の公民館等

一貫山校区：４ヶ所
深江校区：19ヶ所
福吉校区：６カ所
可也校区：１ヶ所
引津・姫島校区：14カ所

国による安定ヨウ素剤の確保体制

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 国は、UPZ内外において安定ヨウ素剤が不足した場合に備えた備蓄を実施しており、全国を5つのブロック（北海道、東北・関東、中部、中国・四国、九州）に分け、5か所の安定ヨウ素剤集積所に丸剤200万丸の備蓄を実施。平成31年度までに乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤15万包の備蓄を実施。
- 緊急配布場所への輸送は、九州ブロックの安定ヨウ素剤集積所から24時間以内、隣接ブロックの安定ヨウ素剤集積所から3日以内、その他ブロックの安定ヨウ素剤集積所から7日以内に完了する体制。
- さらに、不足の場合には、民間工場での全力生産及び海外からの援助等により、必要数を確保。



佐賀県オフサイトセンター

指示

安定ヨウ素剤集積所

輸送

UPZ内外の安定ヨウ素剤
緊急配布場所

佐賀県における避難退域時検査場所の候補地

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 佐賀県では、緊急時の避難を円滑に行うため、UPZ内人口や避難経路等を考慮し、避難元市町と各避難退域時検査場所の対応付けを行ったうえで、避難経路上に候補地をあらかじめ準備。

検査場所通過する避難元市町

佐賀県（12か所）

検査場所	避難元市町
多久市陸上競技場	玄海町・唐津市
佐賀県立森林公園	唐津市
佐賀競馬佐賀場外発売所	
佐賀市富士支所	
基山総合公園	
杵藤クリーンセンター	唐津市・伊万里市
旧北方庁舎職員駐車場	
有田中央運動公園	伊万里市
歴史と文化の森公園 隣接駐車場	
旧山内庁舎	
白岩運動公園競技場	
蟻尾山公園	

（凡例）
●：避難退域時検査場所（候補地）